

★ 頑張る集落営農⑱ ★



農政課では高齢化による農業の担い手不足に対応するため、集落営農組織の育成を支援しています。

① 集落営農組織名 特定農業団体 なのはなの郷三井寺
代表 瀧口 睦雄

② 所在地 国東市武蔵町三井寺

③ 設立年月 平成18年9月

④ 構成戸数 36戸

⑤ 主な経営内容

【経営面積】自作地 3.5ha、借入地 2.2ha

特定農作業受託 1.2ha

【作付面積】大豆 1.2ha、麦 4.0ha

⑥ 集落営農に取り組んで良かったこと

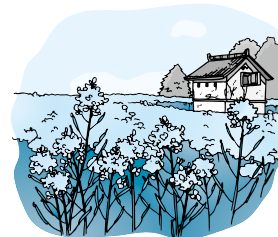
- ・転作が100%以上達成でき、各種補助金の交付対象となったことにより、大型機械(コンバイン、田植機)の導入ができたこと。
- ・転作できなくなった農家の耕作放棄地がなくなったこと。

⑦ 今後の展望、抱負

- ・水稲、麦、大豆だけに頼らず、他作物の導入も考えたい。
- ・トラクター、畦塗り機、麦踏機等の導入の為、頑張りたい。
- ・将来、法人化に向け、各種研修会に積極的に参加したい。



▲通常総会風景



集落営農について関心のある方は、お問い合わせください。

問い合わせ

国見総合支所地域産業課 ☎82-1113

武蔵総合支所地域産業課 ☎68-1115

農政課

安岐総合支所地域産業課

大分県東部振興局農山漁村振興部集落・水田班 ☎72-0409

☎72-5167

☎67-1116

武蔵大学の学生 武蔵町で農業体験

9月1日(火)から3日(木)、武蔵大学(東京都練馬区)の丸橋珠樹教授(人文学部長)と学生7人が農業体験交流で武蔵町を訪れました。武蔵大学と武蔵町は「武蔵」という名前のつながりで、平成5年から交流を始め、平成14年から地元の方の協力で農業体験の交流を続けています。

2日(水)、7人の学生は3班に分かれ、長廣正光さん(丸小野)と横山克己さん(古市)方で、小ネギの皮むきなどの出荷調整作業と、都留一真さん(麻田)方で収穫したぶどうのパック詰め作業を体験しました。また、夜は長廣さん方で、地元の方も参加してバーベキューで交流を深めました。



▲長廣さん方での作業の様子



▲横山さん方での作業の様子



▲都留さん方での作業の様子